

## 2016年コラム 「肺炎に関する話題 その2」

DLBSN東京 協力医 水上勝義 (筑波大学)  
DLBSN茨城 顧問医

10月にはいり徐々に気温が下がり、秋を実感するこの頃です。  
もう2ヶ月すると今度は冬が訪れいよいよ寒さ対策が必要になります。  
季節の移り変わりが本当に早く感じられるのは私だけでしょうか。

「換気応答」のこと一覚えていますか？……………

ところで冬は風邪をこじらせ肺炎にかかりやすい季節です。  
前回のコラムで「肺炎に注意しましょう」(2015年10月)  
と申しあげました。

DLBの方は呼吸状態が悪化したときに生じる防御のための  
生体反応（換気応答）が生じにくくなっているからです。  
そうはいてもいくら注意していても肺炎に罹ることがあるかも知れません。



肺炎が重篤になる要因とは……………

最近の私たちの研究結果から、DLBの方が肺炎になった場合、予後に  
影響する要因がいくつか明らかになりました。

その一つが**下肢の筋力低下**でした。

下肢の筋力低下が見られる方の場合、肺炎が重篤になるリスクが高まると  
いうことがわかりました。

DLBは歩行状態が悪化しやすい病気ですので、今後DLBの方の  
下肢筋力をできるだけ維持するプログラムや支援が必要と考えます。

また**脳梗塞**も肺炎の予後に影響することが示されました。

このため生活習慣病の対応をはじめとする脳梗塞の予防も大切でしょう。

これからの季節に対して少しずつ備えをしておくとうよいと思います。

※次回のコラム担当は高瀬義昌先生です※